

第12回 脱炭素社会推進会議 2026 年度シンポジウム

「脱炭素型建築・コミュニティのつくり方 ～改修とローカル・サーキュラーエコノミー～」

日時：2026 年 2 月 21 日（土）午後 1 時～ 5 時 30 分

場所：ハイブリッド方式 / 建築会館ホール 東京都港区芝 5 丁目 26-20 / Zoom ミーティング（参加用 ID・パスコードは後日メールにて通知）

定員：会場 100 名, Zoom 300 人, 参加費：無料

全体司会：篠 節子（日本建築士会連合会）, 副司会・記録：宮崎 慎也（福岡大学）

建築関連の諸団体が協力して発足した脱炭素社会推進会議は 12 年目を迎えています。気候変動の激甚化が進行する中、災害対応と合わせて、確実な脱炭素戦略が建築・まちづくりに求められている。既存の建築やコミュニティの魅力を生かし、改修による建築再生、まちの再生、地域に暮らす人々による快適で災害時にも対処でき地域社会経済が循環していくサーキュラー型のものづくり、社会経済づくりが求められています。本会議構成団体においての今後の活動の方向性のヒントが獲得できるシンポジウムにしたいと思います。

1 部 基調報告

開催挨拶：脱炭素社会推進会議あいさつ

中村 勉
（ものづくり大学、脱炭素社会推進会議議長）
脱炭素社会推進会議参加団体

構成団体活動報告

建築学会幹事からの課題報告：地球気候危機の要点

外岡 豊
（埼玉大学、日本建築学会地球環境委員会 LCA 小委員会）

同上報告：脱炭素型改修とディコンストラクション

糸長 浩司
（EAS）

2 部 脱炭素型建築・コミュニティのつくり方 ～改修とローカル・サーキュラーエコノミー～

主旨説明

中村 勉
（前掲）

基調講演：「ミニシパリズムと脱炭素コミュニティづくり」

岸本 聡子
（杉並区長）

話題提供： ① 脱炭素的視点からのリファイニング建築デザイン

青木 茂
（青木茂建築工房）

② 歴史的古材を活用した地域の建築の実践

武部 豊孝
（武部建設株式会社）

③ 解体から始まる循環型建築学

松村 秀一
（神戸芸工大学学長、国交省建築分野の中長期的なあり方に関する懇談会会長）

④ 改修と新築の WLC 比較

高井 啓明
（竹中工務店、日建連）

3 部 討論

コーディネーター

糸長 浩司
（前掲）

登壇者

中村 勉, 外岡 豊, 中村 勉, 岸本 聡子, 青木 茂, 武部 豊孝, 松村 秀一, 高井 啓明

まとめ

吉野 博
（東北大学）

お申し込み

2026 年 2 月 18 日（水）までに、こちらよりお申し込みください。
右の QR コードからもお申し込み頂けます。

連絡先

メール：jigyo1@kenchikushikai.or.jp（日本建築士会連合会 事務局 木村）

脱炭素社会推進会議 事務局：（公社）日本建築士会連合会 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 5 階 Tel: 03-3456-2061

構成団体：（公社）空気調和・衛生工学会、（一社）建築設備技術者協会、（一財）建築環境・省エネルギー機構、（一社）建築設備総合協会、（一社）住宅生産団体連合会、（一社）電気設備学会、（一社）都市環境エネルギー協会、（一社）日本サステナブル建築協会、（一社）日本建設業連合会、（公社）日本建築家協会、（一社）日本建築学会、（一社）日本建築構造技術者協会、（公社）日本建築士会連合会、（一社）日本建築士事務所協会連合会、（一社）日本太陽エネルギー学会、（公社）日本都市計画学会、（一社）日本木材学会、日本ヒートアイランド学会、農村計画学会、日本環境共生学会、（一社）日本ビルデック協会連合会、（一社）照明学会、（公社）日本不動産学会、（一社）環境共生住宅推進協議会、NPO 法人 木の建築フォーラム

